

# ウォーナンブル市派遣生のホームステイ家庭 ホストファミリーを募集します！



三浦市では2026年度（令和8年度）以降に、ウォーナンブル市から来市する青少年派遣生を受け入れてくださるホームステイ家庭＝ホストファミリーを募集しています。本事業の主旨をご理解いただき、国際的な視野を持つ青少年の相互交流がより活発に展開されるよう、ホストファミリーの登録につきまして、皆様のご協力をお願いします。

登録方法は、「ホストファミリー登録票」にご記入いただき、三浦市教育委員会教育部青少年教育課へご提出ください。提出いただいた登録票とウォーナンブル市青少年の情報を基にホームステイ先を決定する予定です。

## 目的

姉妹都市であるオーストラリア・ウォーナンブル市の青少年（学生）を三浦市で受入れ、交流活動を通して、国際的な視野を持つ青少年を育成し、次世代の市民同士の交流を促進する。

## ウォーナンブル市について

ウォーナンブル市はメルボルンの南東部に位置する穏やかな気候と自然豊かな台地に恵まれた美しい都市です。

三浦市とは平成4年に姉妹都市の盟約を結び、青少年の相互派遣や留学生の受入れ等の教育の交流など様々な交流が行われています。

## <参考> 前回 令和元年7月の内容

- 7/11 三浦市到着、ホストファミリー宅へ
- 7/12 三崎中学校にて授業参加  
三浦臨海高校（現三浦初声高校）  
にて部活動参加
- 7/13 三浦臨海高校にて授業参加  
和菓子作り体験  
三浦臨海高校にて部活動参加
- 7/14 三浦市近郊観光
- 7/15 うらりにて親善パーティ
- 7/16 空港へ出発

## 募集内容

ウォーナンブル市青少年が三浦市に滞在中のホストファミリーとしての協力（食事、宿泊、送迎等の日常生活を通じた市民交流）

詳細については下記までお問合せください

ご不明な点は、下記の問い合わせ先までお気軽にお尋ねください。また裏面の「ホームステイ受入れに関するよくある質問」も、ご参照くださいますようお願いいたします。

なお、本事業はウォーナンブル市側の都合により来市の中止や日程変更になることがありますので、予めご了承ください。

## 申込・問合せ

三浦市教育委員会 教育部 青少年教育課 窓口受付時間：8：30～17：15（土・日・祝日を除く）  
TEL 046-882-1111(内線 413・418) FAX 046-882-1160 Email [kyoui0601@city.miura.kanagawa.jp](mailto:kyoui0601@city.miura.kanagawa.jp)

三浦市青少年姉妹都市国際交流実行委員会

## ～ ホームステイ受入れに関するよくある質問 ～

### 1 言葉について

- Q ホームステイの受入れをしたくても、言葉が通じないことが不安です。どのように接すればよいでしょうか。
- A (1) 言葉が通じないことを不安に思っている方も多くいらっしゃると思いますが、知っている単語、手振り身振りを使ってどんどん話してみましょう。また、相手が話していることを、たとえ分かりづらい言葉であっても、一生懸命聞き、理解しようとしてみてください。お互いの気持ちがあれば、意思是伝わります。
- (2) 会話のときに、メモ用紙などに単語や絵などを書くようにすると、誤解が少なく、理解しやすくなります。人の紹介や自己紹介などをするときには、特に有効です。
- (3) 英語のできる人だけに会話を頼るのではなく、家族全員で話す努力をしてみてもいいのではないでしょうか。会話をする人が限られると、他の家族に歓迎されていないのではと、青少年（生徒）が不安になってしまいます。

### 2 生活習慣について

- Q 受入れには興味があるのですが、我が家はマンション（またはアパート）で1人部屋が用意できません。また、生活習慣の違いが気になります。
- A (1) 泊める部屋は家族の方と一緒に構いません。ご家族の方が一緒であることにより、かえってホームシックにかかることが少ないかもしれません。また、青少年（生徒）は日本の住まいについて体験できる良い機会になるでしょう。ただ、着替えや、荷物整理等、一人の時間が必要な場合もありますので、配慮してあげてください。
- (2) 生活習慣に関しては、あらかじめ家の中を案内し、使い方を教えてあげてください。布団の上げ下ろしや、お風呂の使い方など外国と違うところについては、あらかじめ話し合っておきましょう。
- (3) 食事の準備や片付け、掃除など、お手伝いすることがあれば、一緒にやってみてはいかがでしょうか。お客様ではなく、家族が増えたという気持ちで接してみてください。
- (4) 長期の滞在になる場合、衣服を洗うために洗濯機が必要になることがあります。使い方について教えてあげてください。

### 3 食事について

- Q 滞在期間中、食事はどのようなものを出せばよいのでしょうか。
- A (1) 特別日本的なものを出すとか、無理に青少年（生徒）に合わせるという必要はありません。いつものとおりの食事で大丈夫です。ただ、食べられないものや嫌いなものの確認をしておいたほうが良いでしょう。
- (2) 純日本風の食べ物（納豆や刺身など）は食べなれていないので、無理に勧めすぎないようにしてください。
- (3) ハンバーグ、豚カツ、鶏のから揚げ、コロッケ、ミートソーススパゲッティ等は好まれる場合が多いようです。